

Makita

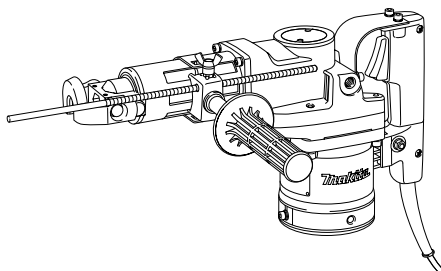
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

38mm ハンマドリル

モデル HR3811

モデル HR3811(P)



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは **ハンマドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいで、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






主要機能

モデル	HR3811	HR3811(P)
主要機能		
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100V	
電流	12A	
周波数	50-60Hz	
消費電力	1130W	
最大穿孔能力	超硬ドリル 38mm コアビット 118mm	
打撃回数	3300min ⁻¹ (回/分)	
回転数	270min ⁻¹ (回転/分)	
本機寸法	長さ 435mm × 幅 108mm × 高さ 243mm	
質量	7.7kg	
振動 3 軸合成値	17.5m/s ²	

- ・ 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定。
- ・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ハンマドリル安全上のご注意

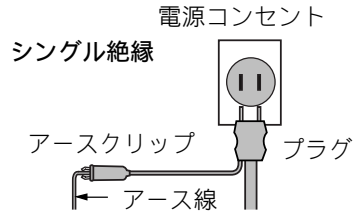
- 先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB047-3

⚠ 警告

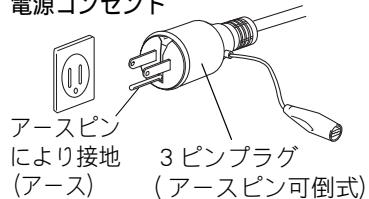
1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）

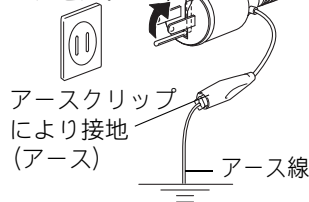
アース付（3ピン）電源コンセント



2 極電源コンセントの場合

- アースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第 333 条・第 334 条
電気設備の技術基準 第 18 条・第 28 条・第 41 条

2 極電源コンセント



2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。
3. つなぎコードは、アース中継線を備えた 3 芯コードを使用してください。
4. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

⚠ 警告

5. 穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け本体を両手で確実に保持してください。
6. 使用中は、工具類（ビットなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
7. 作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
8. 誤って落したり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
9. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
10. シリカや石綿は人体に有害です。このような材料に穴あけする時は、防塵対策をしてください。

⚠ 注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
2. 使用中は、軍手などの巻き込まれる恐れのある手袋をしないでください。
3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
5. 作業直後の工具類（ビットなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
7. 使用前に必ずネジ類にゆるみがないか点検してください。

注

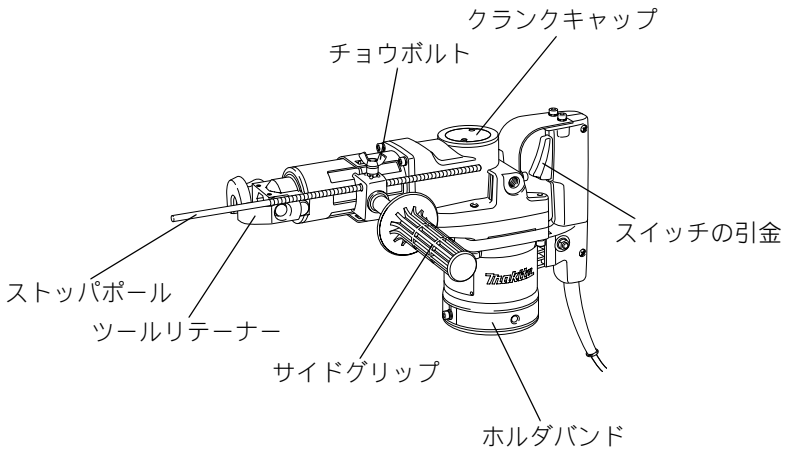
- ・ 気温が低いとき、あるいは長時間使用しなかったときにはグリスが固くなってモーターが回転しても打撃しない場合があります。このような場合には数分間空転し、本機があたたまってからご使用ください。
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.00mm ²	50m	30m	20m

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ ストップボール
- ・ スポイド
- ・ 六角棒レンチ
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

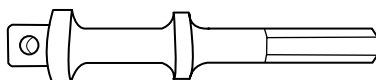
- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

超硬ドリル 六角シャンク			
錐径 (mm)	部品番号	全長 (mm)	最大穿孔 深さ (mm)
10	A-00789	280	170
10.5	A-00795		
11	A-00577		
12	A-00804		
12.5	A-34419		
12.7	A-00810		
13	A-30025		
13.5	A-00826		
14.5	A-00848		
16	A-00854		
17	A-00739		
17.5	A-00583		
18	A-05284		
19	A-00608		
20	A-05290		
21.5	A-00599		
22	A-05309		
23	A-30031		
24	A-30047		
25	A-30053		
25.5	A-05315		
28	A-05321		
30	A-30069		
32	A-05337		
35	A-05343		
38	A-05359		

別販売品のご紹介

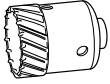


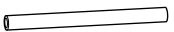
16	A-21668	505	380
18	A-21674		
19	A-21680		
20	A-21696		
22	A-21705		
25.5	A-21711		
28	A-21727		
32	A-21733		
35	A-21749		
38	A-21755		
22	A-21761	905	800
25.5	A-21777		
28	A-21783		
35	A-21799		


ケミカルアンカアダプタ

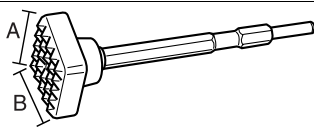


角ドライブ (mm)sq	部品番号
12.7	798331-6
19	798332-4

別販売品のご紹介

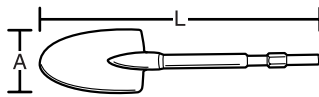
コアビット コンクリートの大径穴あけ用				センタービット 穴あけ 位置決め用	アダプタ センタビット・ ロッド含む	ロッド コアビット・アダ プタ取り外し用
						
径 (mm)	部品 番号	全長 (mm)	最大 穿孔 深さ (mm)	部品 番号	部品 番号	部品 番号
25	A-21945	150	200	752045-1	A-22056 (六角シャンク)	256806-6
30	A-21951					
35	A-21967					
40	A-21973					
45	A-21995		315	752027-3	A-22078 (六角シャンク)	256815-5
54	A-22006					
65	A-22012					
79	A-22028					
105	A-22034					
118	A-22040					

アース棒アダプタ	
ハンマドリル、電動ハンマの先端に取付けてアース棒を地中に打ち込むための工具です。	
	
アース棒サイズ	部品番号
W3/4(6分)まで可能	A-21509

ピシャン 面荒らし用		
		
寸法 (mm)		部品番号
A	B	
67	67	A-21484

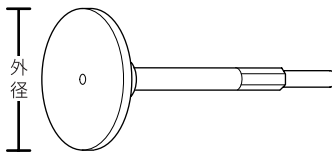
別販売品のご紹介

スコップ
土堀用



寸法 (mm)		部品番号
A	L	
105	400	A-25214
105	405	A-05119

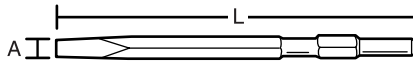
ランマ
地固め用



外径 (mm)	部品番号
140	A-21428

コールドチゼル

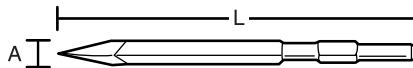
溝切り、角出し、切削用



寸法 (mm)		部品番号
A	L	
19	280	A-21331
	450	A-21347

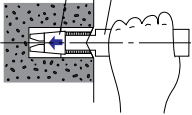
ブルポイント

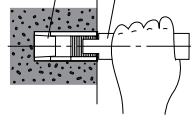
ハツリ、破碎用

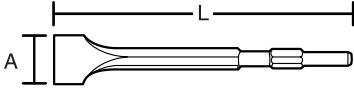


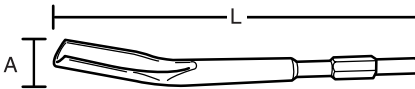
寸法 (mm)		部品番号
A	L	
17	280	A-14489
	280	A-01769
	360	A-06943
	450	A-21244


別販売品のご紹介

プラグ内装用アンカ打込棒 <small>(手打用) プラグ プラグ内装用アンカ打込棒</small> 	めねじ径	部品番号
	W1/4(2分)	765016-9
	W5/16(2分半)	765017-7
	W3/8(3分)	765018-5
	W1/2(4分)	765019-3

プラグ外装用アンカ打込棒 <small>(手打用) プラグ プラグ内装用アンカ打込棒</small> 	めねじ径	部品番号
	W1/4(2分)	765014-3
	W5/16(2分半)	765015-1

スケーリングチゼル 溝つき用		
		
寸法 (mm)		部品番号
A	L	
50	280	A-25161

グルーピングチゼル 溝つき用		
		
寸法 (mm)		部品番号
A	L	
22	280	A-25149
26		A-25155

- ・ ホルダドライバ (アンカ No.3、No.4 打込み用当て工具)
部品番号 A-44650
- ・ ハンマ用グリス (30g 入) 
部品番号 A-42999
- ・ ビット用グリス (100g 入)
部品番号 A-43000
- ・ ロックナットレンチ 35
部品番号 782407-9

使い方

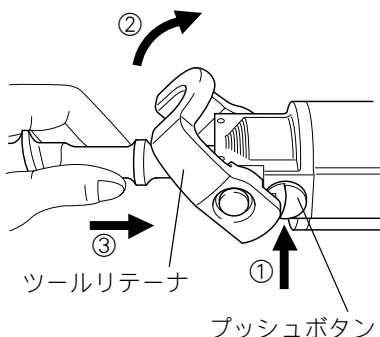
ビットの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ビットの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

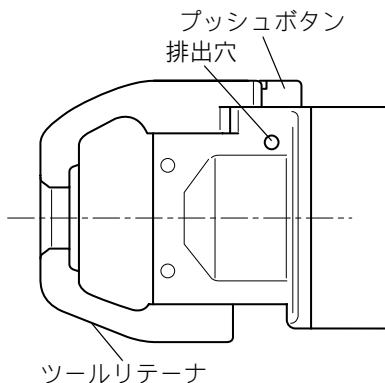
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ ビットをきれいに拭き、ビット用グリスを塗布します。
- ・ プッシュボタンをしっかりと押しながら (①) ツールリテーナを矢印の方向へ上げます。(②)
- ・ ビットを六角穴の奥まで差し込みます。(③)
- ・ ツールリテーナをもとに戻して、ビットが抜けないようにします。
- ・ ビットの取り付け後はツールリテーナを必ず元の位置に戻し、ビットが脱落しないことを確認してください。



注

プッシュボタンの動きが悪い場合は、排出穴より針金などで内部のゴミを除去してください。その後、お手持ちの潤滑油を注油してプッシュボタンを数回押しすと、動きが良くなります。



使い方

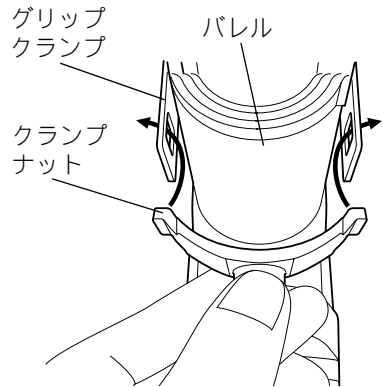
サイドグリップについて

⚠ 警告

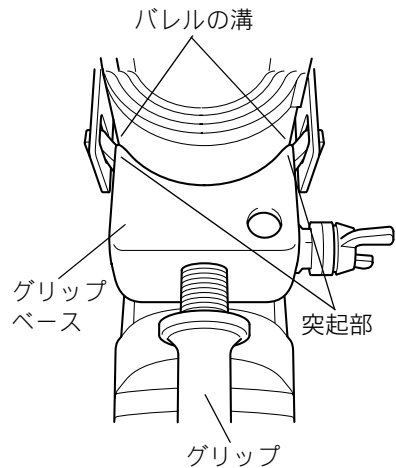
サイドグリップの位置を変更する場合は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

バレル部への取り付け、取り外し方

- ・ グリップクランプの穴にクランプナットを片側ずつ通します。



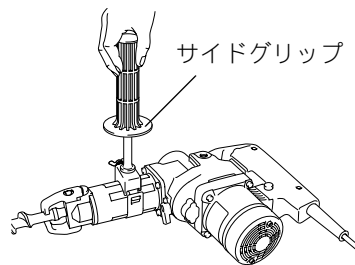
- ・ グリップベースの穴にグリップのネジ部を通しクランプナットを締付けます。このとき、グリップベースの突起部がバレルの溝にはまる位置でグリップを締付けてください。



使い方

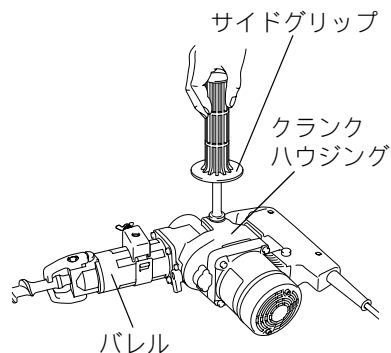
バレル上での位置の変え方

- ・ サイドグリップを左に回すとゆるみますので、作業のしやすい位置にしっかり固定して下さい。



クランクハウジングへの取り付け

- ・ サイドグリップをバレルから取り外してクランクハウジングにねじ込んでお使いになることもできます。この場合、サイドグリップは左右どちら側にも取り付けることができます。



スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。

注

- ・ 起動時には反力が起りますので本機をしっかり保持してください。

使い方

トルクリミッタ

- ・ ビットに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ビットにモータの回転が伝わらない構造になっています。

注

- ・ トルクリミッタが作動したときは、作動時間を 2 秒以内にとどめてください。

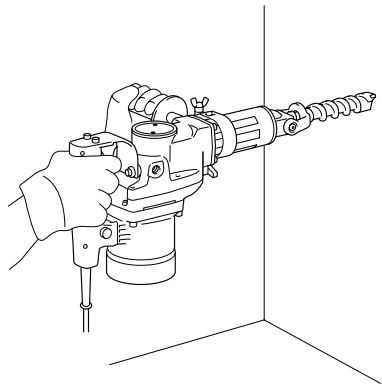
穴あけ方法

⚠ 警告

コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本機が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかりと固定し本機を両手で確実に保持してください。

- ・ 確実に保持していないと、事故の原因になります。

- ・ 穴あけ位置にドリルビットの先端を当ててからスイッチの引金を引きます。
- ・ 本機が浮き上がらない程度に軽く押し付けて作業してください。無理に押さえつけても作業能率は上がりません。
- ・ 深い穴で粉塵がつまりやすいときは、超硬ドリルを回転させながら大きく前後させ粉塵を排出させてください。



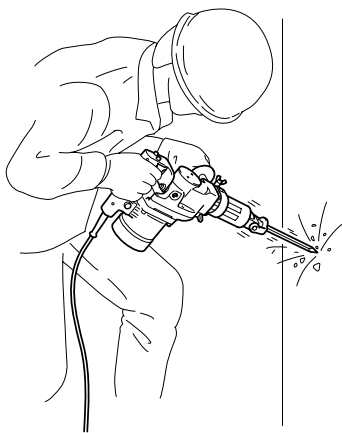
注

- ・ 本機を無理に押し付けても決して穴は速くあきません。本機が浮き上がらない程度に軽く押えて作業してください。

使い方

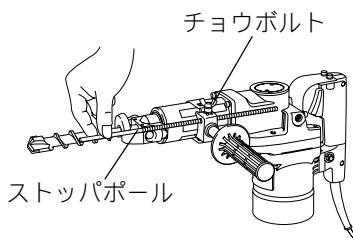
ハツリ・破碎方法

- ・ ハツリ・破碎は本機の自重を利用して行ってください。無理に押えたり、突きさしたりしても作業能率はあがりません。



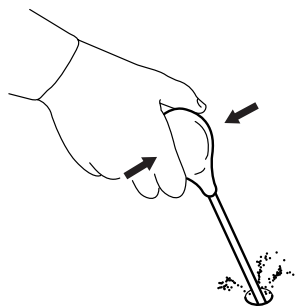
ストップポール（標準付属品）の使い方

- ・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。ストップポールは、サイドグリップベースに付いているチョウボルトによって調節できます。



スポイド（標準付属品）の使い方

- ・ 穴あけ後、穴の中に残った粉塵を取り除くときに使用してください。



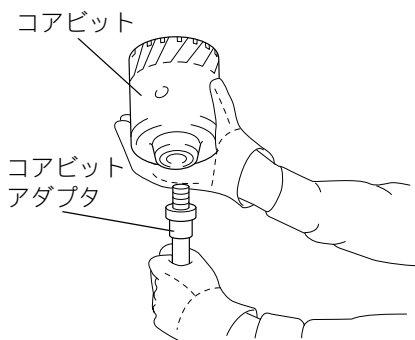
ビット用グリス（別販売品）の使い方

- ・ ビットの取り付け部にビット用グリスを少量（0.5～1g程度）塗ってください。シャンク部の潤滑が向上し、寿命が長くなります。

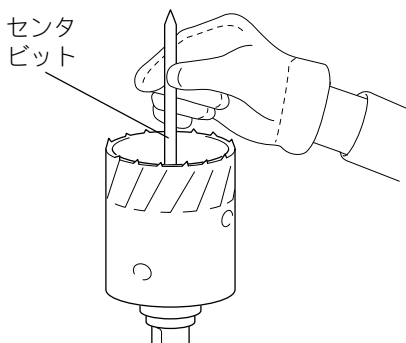
使い方

コアビット（別販売品）の使い方

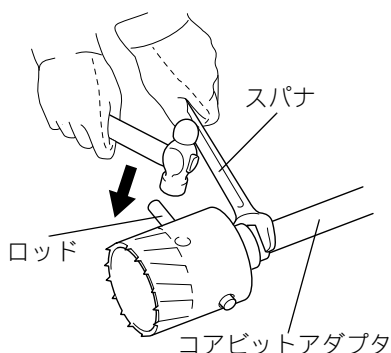
- ・ コアビットアダプタにコアビットを取り付けます。
- ・ ビットの取り付け同様コアビットアダプタを本機に取り付けます。
- ・ センタビットを取り付けます。



- ・ センタビットを穴あけの中心にあててスイッチを入れ、コアビットで案内溝ができましたら、センタビットを取りはずして穴あけしてください。



- ・ コアビットの取りはずし方は、コアビットアダプタの2面幅をスパナ等でつかんで固定し、コアビットの穴にロッドを挿入し、左回りの方向へハンマでたたいて取りはずしてください。



注

案内溝をつくるときにコアビットのネジがゆるむことがあります。短時間であり締め直しのため支障ありません。

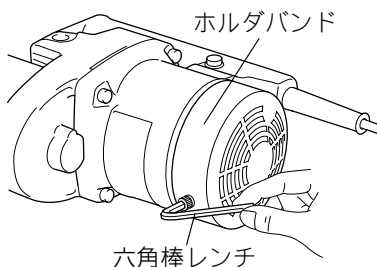
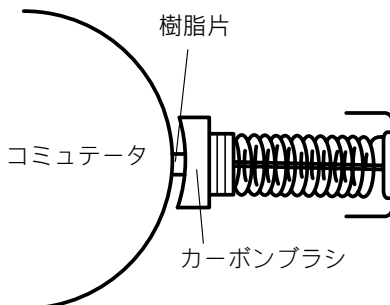
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

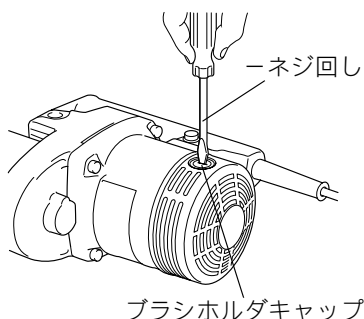
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ 本機はカーボンブラシが使用限界まで摩耗すると樹脂片が飛び出してコミュテータに当たり、自動的に本機を止めるしゃ断カーボンブラシを採用しています。本機が停止したら、カーボンブラシを新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ホルダバンドを固定している六角穴付ボルトを、六角棒レンチでゆるめて取りはずし、ホルダバンドを取りはずしてください。



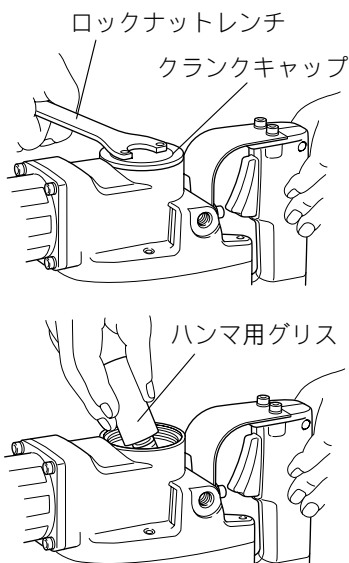
- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



保守・点検について

グリスの交換

- ・ 本機はグリス密封式のため常時補給する必要はありませんが、グリス交換はカーボンブラシ交換のときに行なってください。
- ・ グリス交換は数分間空運転し本機をあたためてから、クランクキャップをロックナットレンチで左へ回してゆるめ、キャップをはずし本機を上に向けてグリスをクランク室に溜めてから布で拭き取り、グリス（マキタハンマ用グリス 60g）を入れてください。このとき、グリスを規定量（60g）以上入れますと、打撃不良などの故障の原因になりますので、必ず規定量にとどめ、入れ過ぎないようにしてください。



注

- ・ キャップを締め付けるときは、キャップが樹脂ですので、締めすぎないように注意してください。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6746) 7220
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6746) 7220
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	奈良営業所	(0742) (61) 6484
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	橿原営業所	(0744) (22) 2061
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	和歌山営業所	(073) (471) 4585
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	田辺営業所	(0739) (25) 1027
				沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	姫路営業所	(079) (281) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001		
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島営業所	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	福山営業所	(084) (923) 0960
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	三原営業所	(0848) (64) 4850
		甲府営業所	(055) (276) 7212	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	徳山営業所	(0834) (21) 5583
長岡営業所	(0258) (30) 5530	七尾営業所	(0767) (52) 3533	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
山形営業所	(023) (643) 5225	富山営業所	(076) (451) 6260	松江営業所	(0852) (21) 0538
酒田営業所	(0234) (26) 3551	高岡営業所	(0766) (21) 3177	高松支店	(087) (867) 6411
秋田営業所	(018) (863) 5205	福井営業所	(0776) (25) 1911	高松営業所	(087) (867) 6411
				徳島営業所	(088) (626) 0555
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	松山営業所	(089) (951) 7666
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
小山営業所	(0285) (25) 5559	多治見営業所	(0572) (22) 4921	高知営業所	(088) (884) 7811
水戸営業所	(029) (248) 2033	松本営業所	(0263) (85) 4751		
土浦営業所	(029) (821) 6086	長野営業所	(026) (225) 1022	福岡支店	(092) (411) 9201
		上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡営業所	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	北九州営業所	(093) (551) 3481
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋支店	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋営業所	(052) (419) 0561	久留米営業所	(0942) (43) 2441
熊谷営業所	(048) (521) 4647	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
越谷営業所	(048) (976) 6155	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
前橋営業所	(027) (232) 5575	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
高崎営業所	(027) (365) 3688	一宮営業所	(0586) (75) 5382		
向毛営業所	(0276) (46) 7661	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	熊本支店	(096) (389) 4300
		津市営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	八代営業所	(0965) (43) 1000
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
市川営業所	(047) (328) 1554			宮崎営業所	(0985) (26) 1236
成田営業所	(0476) (73) 8101	京都支店	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都営業所	(075) (621) 1135	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
柏営業所	(04) (7175) 0411	福知山営業所	(0773) (23) 7733		
		大津営業所	(077) (545) 5594	関東物流センター	(048) (771) 3451
		彦根営業所	(0749) (22) 6184	関西物流センター	(0725) (46) 6715

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881196N4